

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 池田町社会福祉協議会	代表者	会長職務代理 内山 弘毅	法人・ 事業所 の特徴	「通い」「泊まり」「訪問」を同じスタッフが利用者様と関われる事業所です。 花見、ドライブなどみなさんと外出も楽しんでいます。 「通い」が15名と少人数のため和気あいあいと和やかに過ごしています。
事業所名	いけだ小規模多機能型居宅 介護事業所おひさまの家	管理者	所長代理 上條 美佳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが正直に評価している印象がある。 ・利用者の状況を把握している。 ・ひとりひとりのニーズに合わせた支援は大変だが利用者にとっては良い事である。 ・自己評価することで自分を振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に担当者会議が開催できるように徹底していく。 ・利用者の評価を行なうと共に新規利用者の計画表を速やかに作成する。 ・計画表の内容を職員間で徹底していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・防臭対策が行えており、家庭的な雰囲気を利用者にとって居心地が良い空間で清潔感もある。 ・駐車場が狭い。事務所が狭い。そのため突然行きにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者以外の方々にも気軽に相談、交流に来てもらえるようなイベントを企画する。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの知名度が低い。実際に必要を感じないと興味がわかない。 ・気軽に相談できるようになればいい。 ・利用者へのサービスを優先するとなかなか進まない。 ・サロンへの参加は継続して地道に活動していくことが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会主催のサロンへの参加を継続する。 ・年2回の家族介護者交流会、介護技術講習会の開催と家族参加の行事等の開催。(家族同士顔見知りになっていただくことを目的に開催)。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・サロンなどに参加し、交流することは大変良いと思う。結果はすぐに出ないので地道な活動を継続してほしい。 ・家族が安心して利用できる。 ・スタッフには心の余裕をもち、優しく温かく利用者へ接し、目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのご利用者の生活や関係、環境を把握し、なるべくサービスだけでなく社会資源も活用できるように支援する。

			に取り組んでもらいたい。	
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議からの意見や要望を取り入れて真剣に取り組んでいる。 ・運営方針など再確認できる場になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族へ運営推進会議で出された意見や要望、運営方針を伝えていく（その機会をつくる）。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・災害時対応のためにも地域の人のつながりが必要。 ・定期的に訓練・地区防災訓練への参加を継続し、民生委員だけでなく消防団などの参加者を募ったらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災へ参加するとともに事業所での夜間想定避難訓練に自治会の方に継続して参加していただけるように進める。

